

scrapbooker

赤川菊村

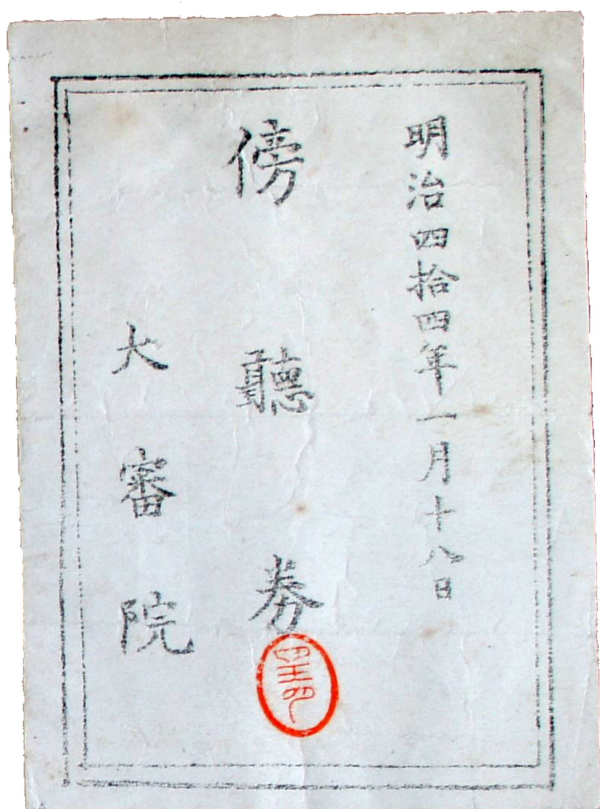
乃木大将自刃をスクープしたといわれた男



scrapbooker 赤川菊村
乃木大将自刃を
スクープしたといわれた男
2022.6.1 [水] ▶8.31 [水]
あきた文学資料館
〒010-0001秋田市中通六丁目6-10
TEL 018-884-7760
開館時間：10時～16時
休館日：毎週月曜 8月11.12.13日
入館・入場無料

展示にあたって

赤川菊村は明治16年3月21日、仙北郡藤木村（現大仙市）に生まれた。本名源一郎。昭和37年4月23日に亡くなっている。今年が生誕139年、没後60年に当たる。赤川家から当館に寄贈された資料は、スクラップブック等113点、雑誌450点をはじめ、総数1073点にのぼる。本展示は、歴史や文化の実相、人々の生涯をそのまま記録したスクラップブックを紹介するとともに、赤川菊村という人物の実像を浮き彫りにすることにある。

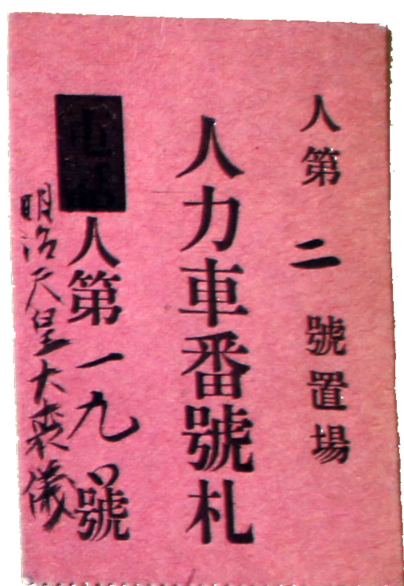


📍明治44年1月18日、明治天皇暗殺を企てたとして多数の社会主義


者、無政府主義者が検挙された大逆事件公判の傍聴券（縦10.6cm、横7.6cm）。

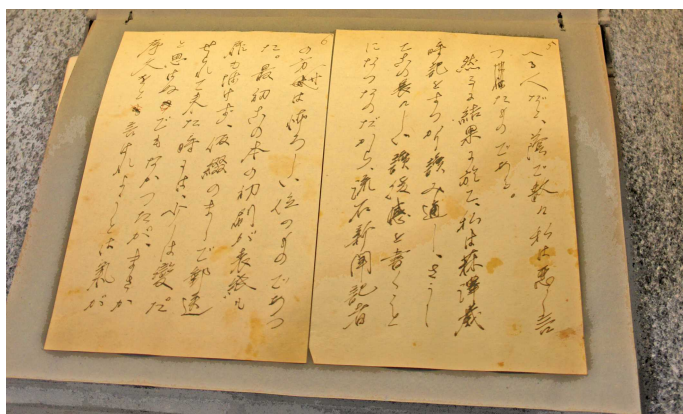


菊村(中) 大正九年八月、秋田にて



📍大正元年9月13日、明治天皇御大葬の日に配布された人力車番号札（縦7.5cm、横5.1cm）。この日菊村は、当時所属していた東京毎日新聞から派遣され取材に当たっていた。この日は、陸軍大将・乃木希典夫妻が自刃した日でもあった。

昭和17年1月、旧仙北郡金沢西根村 ^{がつぎさわ} 萩沢 （現美郷町）の農家佐藤家に伝わる歴代当主の日記等を採録した『萩沢歳時記』を発行した。この書には、民俗学者の柳田国男が1万1千字にもおよぶ序文を寄せている。



『萩沢歳時記』柳田国男序文 美郷町教育委員会蔵